

「キャリア教育」の考え方とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア（人が、生涯でさまざまな役割を果たす中で、自らの役割の価値を見つけていく過程や積み重ね）発達を促す教育のことです。まとめると「基礎的・汎用的能力」を身につける教育ですが、この「基礎的・汎用的能力」とは、具体的に次の4つの「力」をいいます。

1. 人間関係形成・社会形成能力：
他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を形成できる力
2. 自己理解・自己管理能力：
自分の可能性を含めた肯定的な自己理解、自らを律しながら成長する力
3. 課題対応能力：
仕事をする中でさまざまな課題を発見・分析し、計画を立てて課題を解決できる力
4. キャリアプランニング能力：
働くことの意義を理解し、さまざまな情報を活用し主体的にキャリアを形成する力

文部科学省のこのような方針をもとに、荻窪高校でも、キャリア教育の策定にあたり、1年次から卒業年次までの間に「自己理解」「他者との協働」「社会と自分」「社会と職業」という、年次ごとのステップを踏んだアクション・テーマを設定いたしました。本校には多様な生徒が入学します。本校卒業後には、自らの強みを生かし、他者と協働しながら社会の中で自らキャリアを築くことができる力の育成を目指しています。生徒自らが、進路目標を設定し、活動し、進路実現ができるように指導しています。

●1年次では「自分を知る」をテーマに、多様な体験学習を通じて自己理解を深めます。

【実施プログラム例】

・「グループエンカウンター」、「多様な文化ケーススタディ」、「面接官になってみよう」他

●2年次では「他者との協働」をテーマに、仲間との協働を意識した活動を通して目標進路決定を目指します。

【実施プログラム例】

・「チームコンセンサス」、「グループプレゼンテーションワーク」、「進路講演&適性検査」他

●3年次では、「社会と自分」をテーマに、さまざまな社会問題と自らの関わりを意識して探究します。

【実施プログラム例】

・「金融トラブルに逢わないために」、「スマホトラブルを知ろう」、「働き方&収入仮想体験ワーク」他

●4年次では、「社会と職業」をテーマに、就職・進学のための具体的な取り組みを進めます。

【実施プログラム例】

・「分野別進路ガイダンス（志望理由／面接）」、「進路フェアへの参加」、「失敗から学ぶ未来人ワーク」他

本校では、新しいキャリア教育の策定により、校内の各部署が連携・協力し、生徒一人ひとりの「基礎的・汎用的能力」を伸ばす活動をサポートしています。4年間に渡る指導期間でじっくり力をつけていくことで、全員の希望に叶う進路実現も目指しています。また、近隣地域との協働を意識した活動（清掃・防災・たインターンシップ活動等）を取り入れることで、自己理解、地域理解、そして幅広い人間関係を形成する力を培います。